平成２９年度　東筑摩塩尻PTA連合会研修会　　第４分科会　議事録

＜期日＞平成２９年８月２６日（土）
＜会場＞塩尻市立洗馬小学校

提案者：藤澤　健　（吉田小）
助言者：湯本　正芳（丘中校長）
司会者：上條　千守（郡Ｐ常任）
記録者：小川　七重（吉田小）
　　山嵜　公子（吉田小）
　　大窪　美幸（郡Ｐ常任）

分科会テーマ：【学校・地域との連携活動】
　　学校運営における地域・PTA の関わりについて

■自己紹介

■提案者の発表：吉田小　PTA 会長　藤澤さん
テーマ：学校運営における地域・PTA の関わりについて
　　PTA 活動・CS 活動を発表していただきました
まとめ：・少子化による会員数の減少、PTA 活動の負担増加。
・共働き家庭のため、PTA 活動への参加が難しく、PTA の加入もしたくない人も出始めている。
・CS で地域の方に協力いただいているが、保護者は地域の PTA 活動へ積極的に参加できているか？どのように協力していったらよいか？

■各校で発表

塩尻東小	PTA　バザー（少子化で行って行けないかも？） CS　　阿礼神社の夜間パトロール 役員はやりたくなくて何回も同じような人がなり、問題になっている。
塩尻西小	PTA　簡素化（歓迎会は紹介程度のみにした） CS　　活動は多い・商店街の空き店舗の掃除・PTA 作業・学習支援 ・サマースクール（先生を招いて、通常教えてもらえないことを教えてもらう） PTA 参加する人が少なくなっている中でも頑張っている。

桔梗小	今まで PTA でやってきたものを、地域の方に協力してもらって、PTA の負担を減らしている。 PTA 作業（剪定作業・ライン引き）→地域の方が協力してくれる 安全マップを共有し、見守って立ってもらっている。
片丘小	少子化になっている PTA　PTA 作業→これからどうなるか検討中 バザー→今年から中止 資源物回収→地域の方に協力してもらっている CS　クラブ講師・読み聞かせ→地域の方に来てもらっている。 地域の方にやさしく見守られている
宗賀小	少子化が進んでいる。 PTA　昨年から専門部を減らして、活動も縮小している。 地域ごとに分かれて、地区懇談会を行っている。 CS　CS が始まる前から、ボランティアの方に入ってもらっている。 今も引き続き協力してもらっている。
広丘小	学校目標として、公事の心→人のために動く 親も人のために動いてくれる人が多い。役員の方も活動的な人が多い。 PTA　「奨善塾」という学校開放講座（料理・運動など 8 つの講座）があり、地域の方に協力してもらって、とても人気。 CS　コーディネーターが在中。 通学路の安全点検。（市役所・警察の方が来てくれて、安全点検）
吉田小	人数が多いため、役員をやっている人とやっていない人との温度差がある。 CS 活動の認識も低い。 地区の活動への感謝することを学級 PTA を通じて、わかってもらいたい。
洗馬小	昨年役員をやってみて、役員の負担が多すぎて、役員をやっていない人との温度差がある。 PTA に加入したくない方もいる→その辺は柔軟に対応していけばよい。 PTA の仕事を書き出して、どんな仕事をしているか理解してもらう。そうすれば役員をやりたい人がいるかもしれない。やりたくない人を減らそう。やりたい人はもっとやろう。みんな子どものためにという思いは同じ。
木曽楢川小	PTA　簡素化している CS　人数も少ないので、積極的に協力してくれている ・草取り・漆器作りの指導 少ない人数の中なので、PTA 活動も保護者の方が参加しなければいけないという気持ちも強い

筑北小	PTA　２校合併したので、役をあわせて、簡素化。 減らせるものは減らす。PTA 作業：２回→１回に減らした。 講演会：託児を設けて参加してくれる人を増やす。 CS　孫を育てているという気持ちで参加してくれている。 子どもたちにもいい影響を与えている。 役員も少ない人数の中でも折り合いをつけて何とかまわっている。 PTA 活動も保護者が出るのが当たり前という考え。
坂井小	地域の方の協力なしでは PTA 活動も成り立たない。 地域の方と密接になってきている。
両小野中	CS　伊那の行政なので以前から活動している。 小・中９年間子どもたちはみんな一緒。何をするかより、何をテーマに進めたら９年間子どもたちのためになるかを考えている
塩尻西部中	CS　通学区の草刈りボランティア。 少子化の問題があり、会則が生徒の多い時の状態のままなので、このままではいけないということで、新しく決めている（年内にはめどをつけたい）
丘中 （先生）	PTA　バザー・PTA 作業・校外指導（生徒の様子を見てもらう） CS　放課後・長期休みの学習支援・読み聞かせ 地域の方にお世話になっている。 学校として、どう恩返しできるか。
広陵中	生徒数増加の中、PTA に加入拒否をした方がいた。 活動内容がわからない、魅力を感じない。加入したくない人も多い →しっかり活動の中身をわかるようにして、来年の役員選出に役立てたい
筑北中	来年学校を統合する。 人数が少ないので、協力して、やろうという方も多い。 PTA　部を減らしてりして見直した CS　学校の方で、積極的に地域にボランティアの呼びかけをしてくれる。 地域の方の協力なしではできないが、取り組みは早いほうではないかと思う。

■助言者のまとめ（丘中・湯本校長先生）

・少子化になっている中で、今のような活動は難しくなってくるのではないか？

・それぞれのニーズに合わせて活動を変えていく必要があるのではないか？

・役員決めも難しくなってきているのでは？→活動内容をしっかり保護者の方に理解してもらう必要がある。
・ネット上でも PTA について賛否がある。
例）①PTA を廃止した学校（東京）→最初はよかったが、何かあったときに学校とのつながりが取れないので、保護者の会がたちあがった。独自の会なので積極的。やめてみたけど、保護者の組織みたいなものは必要だと思う。

②校長先生が PTA を廃止した学校→地域の方も含め保護者の会を立ち上げる

・PTA は任意の団体で強制力はない。ネットなどを見たら、自分も入らなくてもいいと思うかもしれないが、良さをうったえていく必要はある。
・学校だけで子どもを育てるのは限界がある。その上で、地域の方、PTA の方の協力なしでは成り立たない。CS と PTA の協力で子どもを育てていく必要があると思う。
・役員は会合・活動が多くて大変だが、役員を終えた方からは良い感想をいただける。活動がわかってよかった。→中に入ってみんなでわかってもらう必要がある。

■終了